

◎田村敏和市長

初めに、少子化対策についてどう考えているかについてであります。

少子化の原因は、議員御指摘のとおり、未婚率の上昇や晩婚化、経済的負担など様々な要因が重なっていることから、仕事と子育てが両立できる環境整備、子育てに対する負担軽減など、結婚や子供を産み育てやすい環境等の整備に一つ一つ丁寧に取り組むことが大切であると考えております。

国が打ち出すことも未来戦略方針では、児童手当の拡充をはじめ、子育てを支援する様々な施策が盛り込まれることとされており、国ではこれが少子化傾向を反転できるかどうかのラストチャンスとしております。

私としても、少子化対策は国策として喫緊の課題と考え、市としても白山市の将来を担うのは子供たちとの認識の下、少子化対策は白山市の未来への投資であると考えております。

今後とも国の施策を注視し、効果的な施策に積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

次に、市長会の先頭に立って、国や県に対し財源を含めた制度設計を要求することについては、国の少子化対策に対する財源を含めた制度設計を県市長会や全国市長会を通して引き続き強く要望していきたいと考えております。

また、県や県内の首長と連携しながら、少子化対策に対する財源の確保や、きめ細かい対策を着実に行ってまいりたいと考えております。

次に、学校給食無償化の検討の現状についてであります。

学校給食の無償化につきましては、安定的で恒久的な財源をいかに確保するかということが一番の課題であります。

現在、サマーレビューを行い、分析をしているところでありますが、給食無償化には十分な財源確保が必要でありますので、中期計画の財政計画において検討するとともに、当初予算を編成する中で総合的に判断する必要があると考えております。

また、私が教育長として在任していた頃、山田前市長と学校給食無償化は必要との思いを共有しており、山田前市長は財源確保の面からなかなか実現が難しいと、そういう見解をお持ちでございました。

その点におきましても、私も同感であり、財源確保をいかに行うかということは重要課題でありますので、調整を重ねていく必要があると考えております。

次に、県や国の支援を踏まえた学校給食の無償化についてであります。

物価高騰などの社会情勢を踏まえて、臨時的な国の交付金などを活用し、暫定的な無償化に踏み切ることも一つの方法ではありますが、私の思いは継続的な無償化でございます。

また、議員御提案のように、学校給食の無償化に向けた支援が国や県により制度化されることが確実となった際には、市が前倒しにより実施することも選択肢の一つであると考えておりますが、国や県による支援がいつになるか若干見通せないのも事実でございます。市としていち早く無償化を実現したいと考えているところでもございます。

一方で、国主体の給食無償化の制度化を求めていくことも重要であると思っておりますので、市長会を通じて強く働きかけてまいりたいと考えております。

次に、若者の結婚についての見解についてであります。

私も議員御指摘のとおり、少子化の大きな原因に未婚率の上昇や晩婚化、経済的負担などがあり、優先して対策を講じなければならないという思いは同じでございます。

こうしたことから、若者の経済的自立につながる地元雇用の促進、安定した雇用の確保と子育て・教育にかかる経済的負担の軽減に努めているところであり、市議会の皆様と共に少子化対策という大きな課題について、知恵を結集して取り組んでまいりたいと考えております。

今後とも、若い世代が夢や希望を持って住み続けられるよう、「健康で笑顔あふれる元気都市 白山」の実現に向けた市政運営に邁進してまいりたいと考えております。

以上でございます。